

滋賀県中学校体育連盟野球専門部主催の、各種野球大会に参加する者の全ての用具・装具に適用する。

#### ○ボール

- (1) 使用するボールは(財)全日本軟式野球連盟公認球M号とする。

#### ○バット

- (1) J・S・B・Bのマークをつけた全日本軟式野球連盟公認のものを使用する。ベンチに持ち込める物もその限りとし、マスコットバット、鉄棒、その他トレーニングバット、リングの持ち込みを禁止する。
- (2) 木製バットについては一本の木材で作ったものであること。竹片、木片の接合バットの使用は認めない。
- (3) 明らかなへこみ、亀裂、はがれの認められるものは使用できない。
- (4) バットの握りの部分については、一般的なグリップテープを使用する。
- (5) グリップテープに、はがれ、摩耗、傷等があるものや、明らかに留まっていないものは使用できない。

#### ○ユニフォーム

- (1) 同一チームの監督、コーチ、選手は同一のユニフォームを着用する。
- (2) 監督は30、コーチは28、29の背番号を付ける。
- (3) 選手のユニフォームは1～20の背番号を付ける。
- (4) 背番号については、番号がはっきりわかる色にし、華美にならないようにする。
- (5) 全体にわたる縞模様、ツートンカラー(上着とズボンの色合いが異なるもの)の使用を認めるが、色合いについては華美にならないようにする。
- (6) ノースリーブタイプの上着は認めない。
- (7) ロングタイプ(裾が極端に絞ったもの)、ストレートタイプ(裾幅の広いもの)のズボンは使用できない。
- (8) ユニフォームのデザインを変更する際、制限規定に触れる可能性がある場合は、事前に審判部長に確認すること。事前の確認を怠り、制限規定違反のユニフォームを使用した場合は、直ちに使用を禁止することがある。
- (9) ユニフォームには、校名、チーム名、頭文字、校章、県名又は地方名の表記を基本とする。県名の表記は漢字、ローマ字で左袖に記載することが望ましい。

#### ○アンダーシャツ、ストッキング

- (1) 見える部分に個人名、番号等をつけない。ただしメーカー名、商標はこの限りでない。
- (2) 左右の長さの違うものは使用できない。
- (3) アンダーソックス、ストッキングの両方を着用し、ローカットのアーチ型のみとする。
- (4) 背中等に文字や文章等のプリントのあるシャツをアンダーシャツ代わりにしない。

#### ○スパイク

- (1) スパイクの表面は黒または白一色とし、材質がエナメルのもの使用できない。白色のものについてはその限りではない。
- (2) チーム内で白か黒で色を統一する。
- (3) ハイカット、ミドルカットタイプのスパイクを使用してもかまわない。
- (4) 校名、校章等の表記は出来ない。また、ベロ皮部分に氏名、番号等を付けることは禁止する(メーカー名、商標はこの限りでない)。

#### ○グラブ、ミット

- (1) 公認野球規則3・04、3・05、3・06、3・07に準ずる。
- (2) 投手のグラブは、縁取り・縫い糸を除き白色、灰色以外のものでなければならない。審判員の判断によるが、どんな方法であっても幻惑させるものであってはならない。

【注】投手のグラブについては、縁取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体（捕球面、背面、網）は1色でなければならない。

- (3) 投手は、そのグラブの色と異なった色のものを、グラブにつけることはできない。
- (4) 球審は、自らの判断または他の審判員の助言があれば、あるいは相手チームの監督からの異議に球審が同意すれば、本来(2)または(3)項に違反しているグラブを取り替えさせる。
- (5) 守備位置に関係なく、野手はPANTONEの色基準14番よりうすい色のグラブを使用することはできない。
- (6) しめ紐は長いままにせず、5 cm以内とする。
- (7) 個人名、番号、その他の文字を刺繍する事は禁止する。

#### ○ヘルメット

- (1) 打者、次打者、走者は全日本軟式野球連盟(J・S・B・B)公認のヘルメットを使用すること。色彩は一色で両耳付きのものを着用すること。また、顎部(顔面)を保護するチンガードがついたもの、一体化しているものの使用は認めない。
- (2) ランナーコーチ2名も打者用ヘルメットを着用すること。
- (3) バットボーイ、ボールボーイは危険防止のためにヘルメットを着用すること。
- (4) 校名、頭文字、校章を前頭部一カ所に表示できる。後頭部、側頭部への番号表記も認める。
- (5) 亀裂のあるものや内側の保護パッドがない又は固定されていないものは使用できない。

#### ○捕手の装具

- (1) 捕手は全日本軟式野球連盟(J・S・B・B)公認のマスク、スロートガード、ヘルメット、プロテクター、レガースを必ず着用すること。但し、スロートガード一体式のものは、スロートガードを装着しなくて良い。
- (2) ファールカップを着用すること。夏季総体ファイナルステージにおいては、オーダー交換の際に持参すること。
- (3) 捕手用具に、亀裂、破損のあるものは使用できない。
- (4) 膝痛軽減用パッドの使用を認める。
- (5) 投球練習の際(ブルペンでの練習を含む)、捕手はマスクを着用しなければならない。ヘルメット、プロテクター、レガースについては着用することが望ましい。

#### ○手袋

- (1) 手袋は野球専用のもので、打者・走者・野手の守備時に使用しても良い。但し、投手の守備時での使用は認めない。
- (2) 手袋の形状は、手首までのものとする。また、手首に巻き付ける形状のものも使用できるが、手袋と一体型のものに限る。
- (3) 色彩は、白色、または黒色の単色とする。
- (4) リストバンドは使用できない。また、サポーター(手首や指を固定・保護する目的の物)の使用は、医療目的に限り、試合前に大会本部に申し出て許可を得る。

#### ○その他

- (1) レッグガード、エルボーガードの使用は認めない。
- (2) スプレー式滑り止めは使用しない。
- (3) サングラスの使用は原則として認めない。医療目的で使用する場合は大会本部に申し出る。
- (4) グラウンドコートは華美なものを避け原則として野球用のものを使用することが望ましい。

※上記以外については、原則として「公認野球規則 2024 Official Baseball Rules」に準じる。